

年頭のごあいさつ

会長 本庄賀秀峰



新年あけましておめでとうございます。
今年も皆さんと一緒に吟詠ができることを楽しみにしております。
これまで「新型コロナ」感染防止のため、吟詠活動が思ったようにできないもどかしさがありました。しかし、「吟剣詩舞大会（吟と舞）」「吟士権大会」「一般研修会」「定期発表会」など昨年からは少しずつ感染防止対策を十分に行ったうえで再開してまいりました。今年も「新型コロナ」感染防止策をとりながら、さらに充実した行事を企画、開催してまいりますので、ご協力をお願いいたします。私たちの身体と心と頭の健康のために、「行くところがある」（詩吟の勉強会、行事）、「会う人がいる」（多くの詩吟仲間）、「することがある」（詩吟の勉強とコンクールなどへの挑戦）を実行していきましょう。

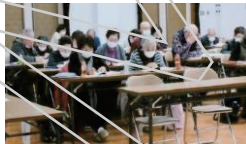
一般研修会のご報告



講師

コロナ禍でいろいろな行事が縮小されている中、研修会が12月4日、コラサで開かれました。横山先生を講師に47名の参加者。今回は、賀堂流の統一譜節をテーマに基本音階を学習しました。それぞれの教室で指導されていますが、今一度確認をする意味でも有意義な研修会になりました。会員さんの声では、同じような譜節でも、出てくる場所で音階が変化するのが良く分かったとのこと、質問も活発に出て、熱気を感じました。

今回は、基礎基本に戻って譜節記号、7か所の基本の“ミ”の場所、アクセントなどをやるとより理解が深まるのではと感じました。皆さん、ぜひご協力お願いします。



(企画研修部)

統一譜節の一般研修会に参加して 西迫宗文

私は吟詠を習い始めて5年目になります。去年、奥伝となりました。吟詠は難しいですね。教室では発声、音程、譜節等教えてもらいますがなかなか上手になりません。今回参加した研修会は非常に有意義なものでした。漢詩には吟詠するときの音程、符節などすべて書いてありますが、吟詠しながら理解するのはむづかしいですね。私は漢詩の音階と詠音符を楽譜に書き練習しています。今後、詠音符、のべは今回習ったものを書こうと思います。詠音符、のべの歌い方は例題の吟詠を携帯に録音して常に聞けるようにしておきます。この楽譜に注意されたこと、間違いやすい音程なども書きます。練習して教室で先生の指導をお願いしたいと思います。当然、上手になればこのような楽譜は必要なくなると思いますが。

横山先生、今回のご指導有難うございました。また機会がありましたら、「ミ」の音程のとりかた、発声方法等などの研修会があるといいなと思っています。今後ともご指導よろしくをお願いいたします。有難うございました。

「京吟」に長峰詩吟クラブが掲載

11月10日、「長峰詩吟クラブ」の教室に、府連から令和5年度版の「京吟」掲載記事(「おじゃまします教場訪問」)の取材に来られ、長峰詩吟クラブの現状、お稽古の方法や内容などを取材されました。そこで、指導者の本庄会長が、基盤である長岡京吟詠会の歴史の概略説明と、会長ご自身の思いを込めた行動指針《和・磨・拡》に基づく本会の精神や、組織運営などの仕組み、重点的な事業や活動、会報の「ぎんまい長岡京」のことなど、縦横多岐に亘って具体的に説明されると、規模や取り組み等の有り様すべてに、強く興味関心を表され、沢山質問されていました。その後、1時間程、実際のお稽古を見て頂きましたが、発声・朗読・アクセント・诗情(強弱・緩急他)など、丁寧な指導に、しきりと「大事なことです」と、エールを頂きました。

お帰りには、毎月会員有志による奉納吟の際に巡る官公にまつわる5カ所の歌碑等のご案内をしたのですが、「錦神社」もありますよ、と教えてもらったり、興味深げに観賞、同行して下さいました。どんな記事にしてくださっているか!?

皆さん、ぜひ「京吟 令和5年版」を読んでください。(広報部)



「詩吟との出会い」

櫻澤賀秀峰

平成26年に初級の認定をいただいてから8年になります。「べんせいしゅくしゅく」や、「さんせんそうもく」の出だしは、いつごろからか覚えてしまいました。その中で、特段の思い出を振り返ると、レコードで三橋美智也の『白虎隊』が詩文入りで発売されたことです。私は、発売される数年前に、仕事で会津若松に行ったとき、現地の方が、白虎隊が切腹して果てた場所に案内してくれました。その場所を言われた時、寒気がしたことが脳裏をかすめ、その後、買ったレコードを聴きながら飯盛山を思い、詩吟の部分も暗記していました。いま、横山先生の作られた五線譜の譜面を教材にして、この「白虎隊」(教本 律詩 二)を勉強しています。

R5/1・2月の予定



長岡京吟詠会

1/11(水) 13:30	連絡会	公民館 学習室2
1/11(水) 14:45	企画・研修部会	〃
1/18(水) 13:30	運営会	公民館 学習室1
1/18(水) 14:45	執行部会	〃
1/25(水) 13:30	連絡会	産文3F 1会議室
2/ 1(水) 13:30	連絡会	公民館 学習室2
2/ 1(水) 14:45	企画・研修部会	〃
2/ 8(水) 13:30	運営会	産文 2F 1会議室
2/ 8(水) 14:45	執行部会	〃
2/15(水) 13:30	連絡会	公民館 学習室2
2/26(日) 13:00	吟詠会総会	こらさ交流室

京都本部・総本部

2/12(日) 京都本部常任理事会 丹波マークス

府連・府総連・財団

2/25(土) 府連・府総連役員総会 京都アスニー

* 愛連フェスティバルのお誘い!

「第13回愛連吟詠フェスティバル」が、3月5日(日)、あましんアルカイックホールで開催されます。吟士権者・上位入賞者の吟詠、そして歴代第二部吟士権者による構成番組など素晴らしい内容が企画されております。皆さん是非ご鑑賞して下さい。チケット(4,000円/1枚)をご希望の方は事務局までご連絡ください。(事務局)

* 前期昇格審査会のお知らせ

前期昇格審査会を3月26日(日)に予定しています。受審申し込みの締め切りは、2月1日(水)です。受審される方は準備を進めて下さい。(事務局)

* コンクール申し込み×切が迫る!

財団全国吟詠コンクール京都府大会(4/9)の出場申し込みの締め切りが、1月25日(水)となっております。お忘れなくよろしく願いいたします。(事務局)



うさぎの数えかた

今年は「うさぎ」の年です。うさぎはどうして一羽、二羽…と数えるのでしょうか?(答えは2月号で!)長建

昇級おめでとございます!

この度12月1日付けで、小垂喜子さん(秀邦)、新庄佑三さん(秀邦)、丸田薫さん(亀岡)が一級に昇格されました。おめでとうございます。さらに上を目指して稽古に励んでください。(事務局)

シリーズ「クラブ紹介」その9
【たちばな③詩吟クラブ】 高橋賀秀晶

「白山」の指導者で「たちばな」所属の山本先生がご逝去され、続いて両クラブでご指導頂いていた八木先生が体調不良のために退会されて、両先生にお世話になっていた私達「白山」と「たちばな」の弟子は、忽ち心細い状況に陥りました。何度かの話し合いの末、当時名ばかりだった「たちばな③」に奥さん、西本さんが移り、「秀滉」の山内さんに手伝って頂くということで練習を始めました。このようにして「たちばな③詩吟クラブ」が動き始めて早一年あまり経ちました。代表は私ですが指導経験が乏しく、目下横山先生から頂く助言に頼っています。月に三回の練習をしていますが、吟の合間に賑やかな雑談も楽しみ、いつも瞬く間に時間が過ぎます。楽しく練習をしてみんなの、ゆっくりでも着実な吟詠力向上を目指して頑張っています。今後ともご支援・ご指導を宜しくお願い致します。

詩吟の基礎技術その6 高橋賀秀正

音についての基礎知識

1. 音の大小と高低

- (1) 音の源は振動です。振動が起こるとその周囲の空気が振動によって押されたり、引かれたりして空気中を伝わります。
- (2) 空気の波紋を鼓膜が感じ取ると、それを音として聴くことができます。
- (3) 速く振動すると高い音になり、ゆっくり振動すると低い音になります。
- (4) 大きな振幅は大きい音になり、小さな振幅は小さい音になります。

2. 倍音と音色

- (1) 音源の基本の振動数を基音といい、その整数倍の振動数の音を倍音といいます。
- (2) 倍音は音源の構造(楽器は形状など、人は口の開け方)によって変わります。
- (3) 基音と倍音を合成した音を合成音(音色)といいます。
- (4) 「あいうえお」(音色)の違いは声の倍音の響かせ方、即ち、口の開け方を変えることによって作られています。このことは、同じ母音で口の形を変えると音色が変わってしまうことを意味します。

節まわしの途中で口の形を変えてはいけない理由です。

3. 共鳴

音叉(固有の振動数を発するU字状に別れた金属製の器具)を叩いて端を机などにくっつけると音叉の振動が板に伝わり、伝わった板の振動が今度は音叉をもっと大きく振動させ音が良く聞こえるようになります。これが共鳴の原理です。大きな声は、身体が共鳴することでより大きな声になるものです。



『ぎんまい長岡京』 編集室
編集委員長 尻枝賀秀道
編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路
※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道
Tel: 075-954-9092